

2025年3月期第2四半期決算説明資料

Mission for Smile
～みんなに笑顔をお届けよう～

明治電機工業株式会社

2024年11月

証券コード:3388

2025年3月期第2四半期 決算のポイント

- 1. 2025年3月期第2Q実績
売上高は、自動車関連企業向けの販売は増加、電気・電子・半導体及び工作・産業機械関連企業向けの販売は減少。
営業利益は、在庫評価損及び販売管理費の増加により減少。
連結売上高は前期比+0.6%（当初予想比▲8.6%）、連結営業利益は前期比▲24.7%（当初予想比▲40.8%）。
- 2. 2025年3月期通期見通し（下方修正）
第2Q実績を鑑み下方修正。（第3、第4Qは期初想定+ α を見込む）
連結売上高は当初予想比▲1.3%、連結営業利益は▲7.4%。
- 3. 2025年3月期中間配当及び期末配当予想（修正なし）
中間配当は30円、期末配当予想30円（年間配当予想60円）。

2025年3月期第2四半期 連結決算の概要

※自動車関連企業向け販売は増加したものの、工作・産業機械及び電気・電子・半導体企業向け販売が減少。

2024年3月期 第2四半期

実績
(百万円) シェア/利益
率

2025年3月期 第2四半期

実績
(百万円) シェア/利益
率

前期比

増減率

売上高

33,969

34,173

+0.6%

営業利益

1,100

3.2%

828

2.4%

▲24.7%

経常利益

1,362

4.0%

927

2.7%

▲31.9%

親会社株主に帰属する
中間純利益

964

2.8%

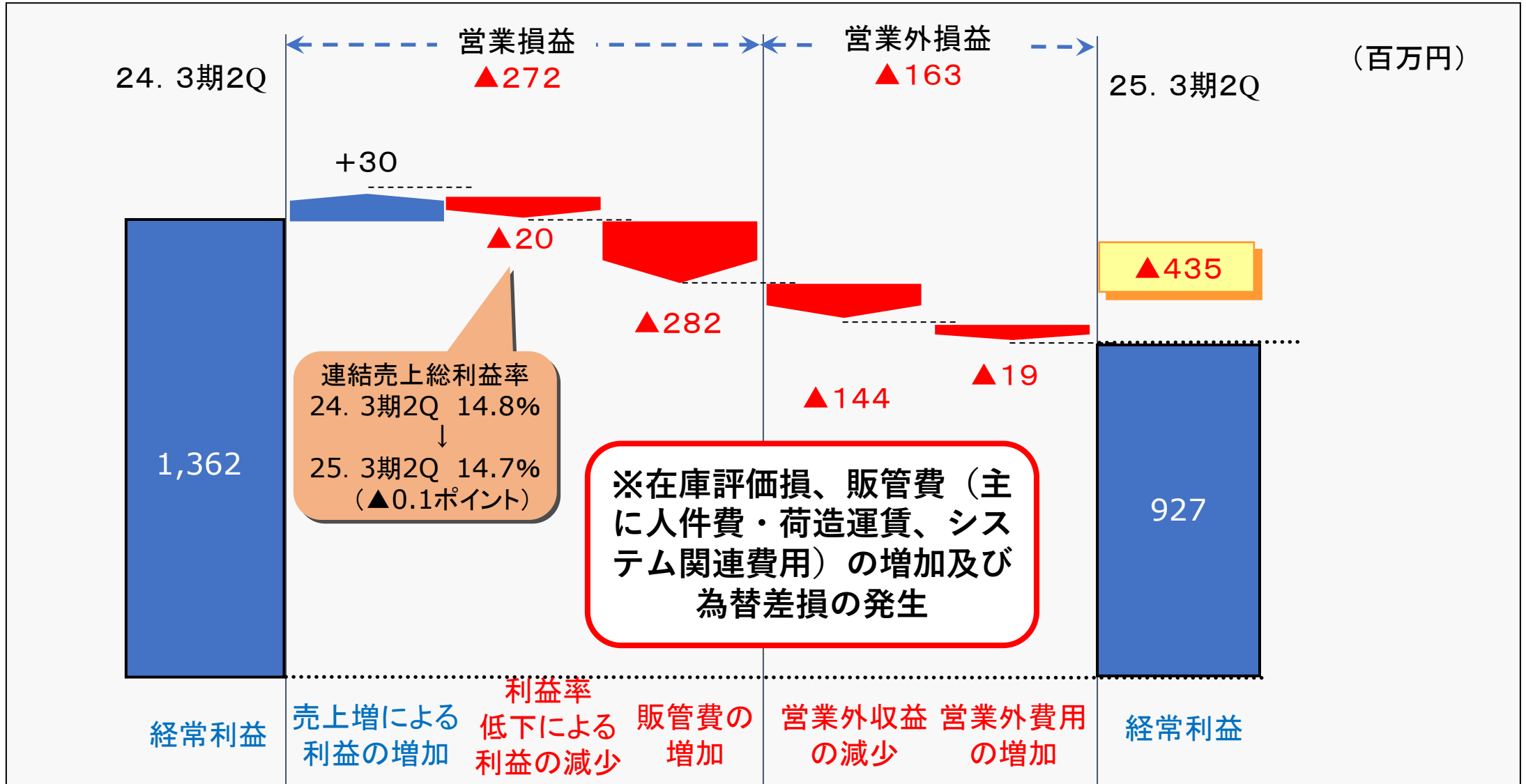
637

1.9%

▲33.9%

2025年3月期第2四半期連結経常利益増減要因

前年同期比 **▲435百万円**、利益率低下、販管費の増加及び営業外損益の減少によるもの。

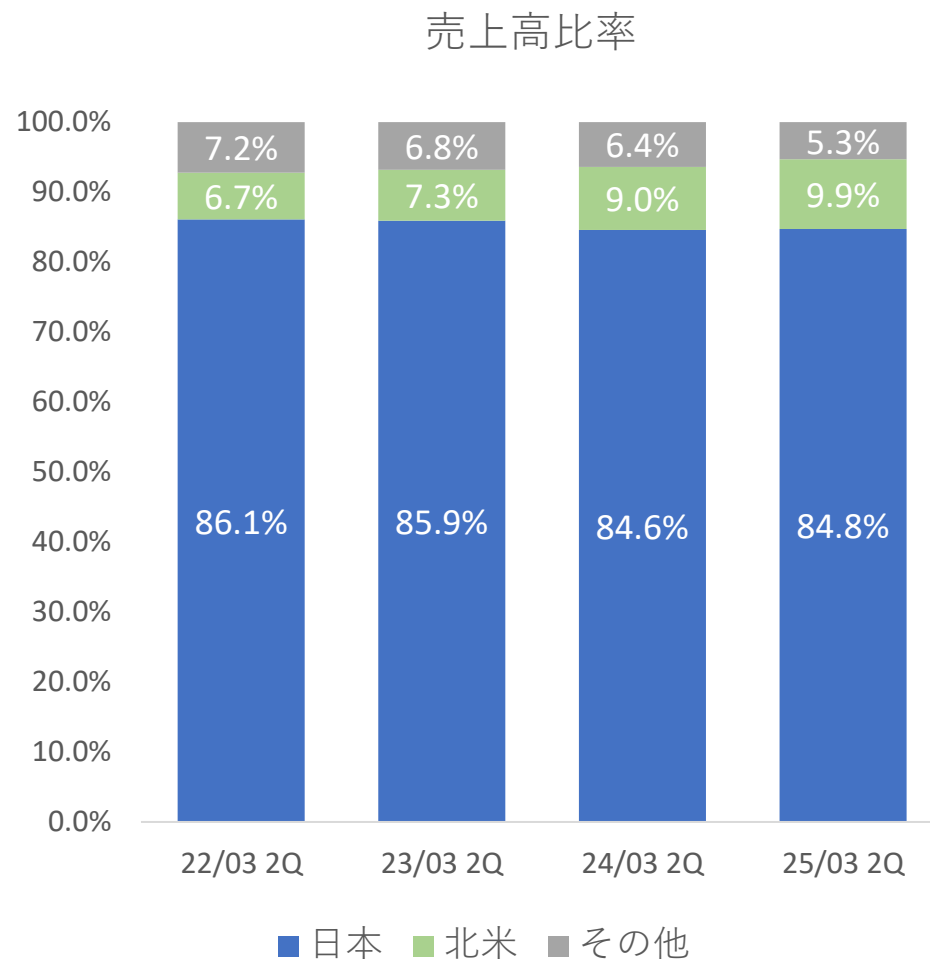
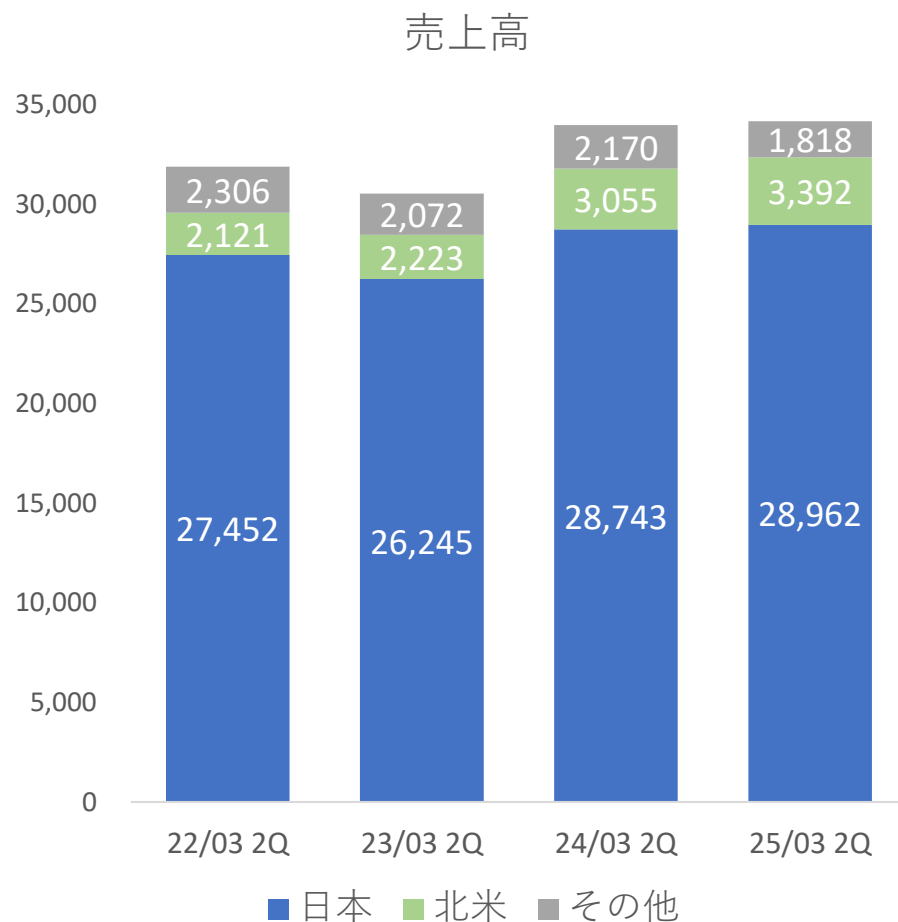
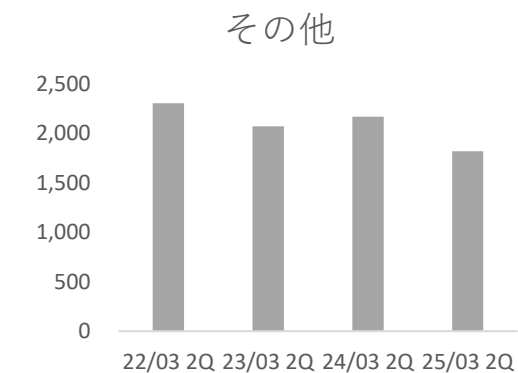
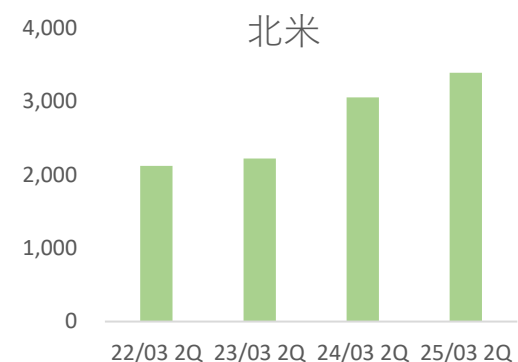
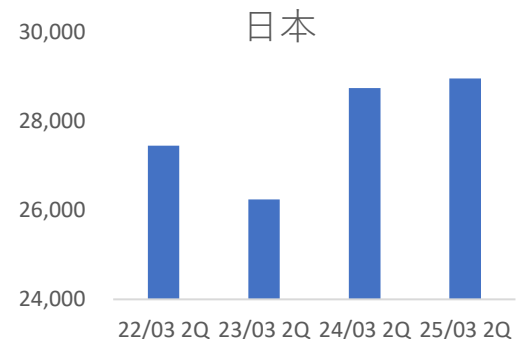


地域別売上高推移



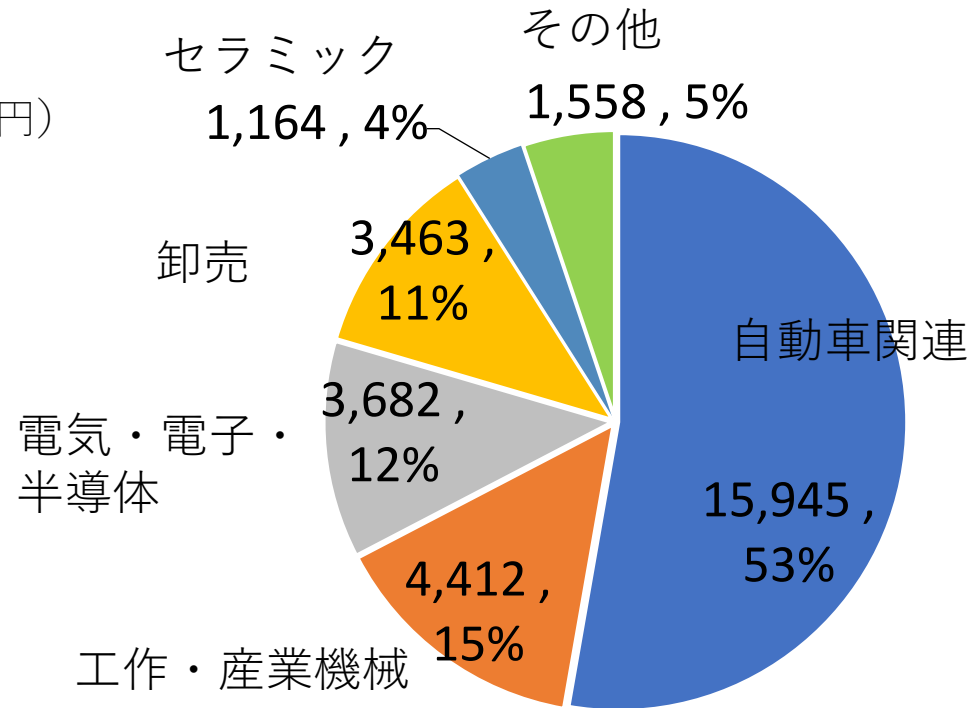
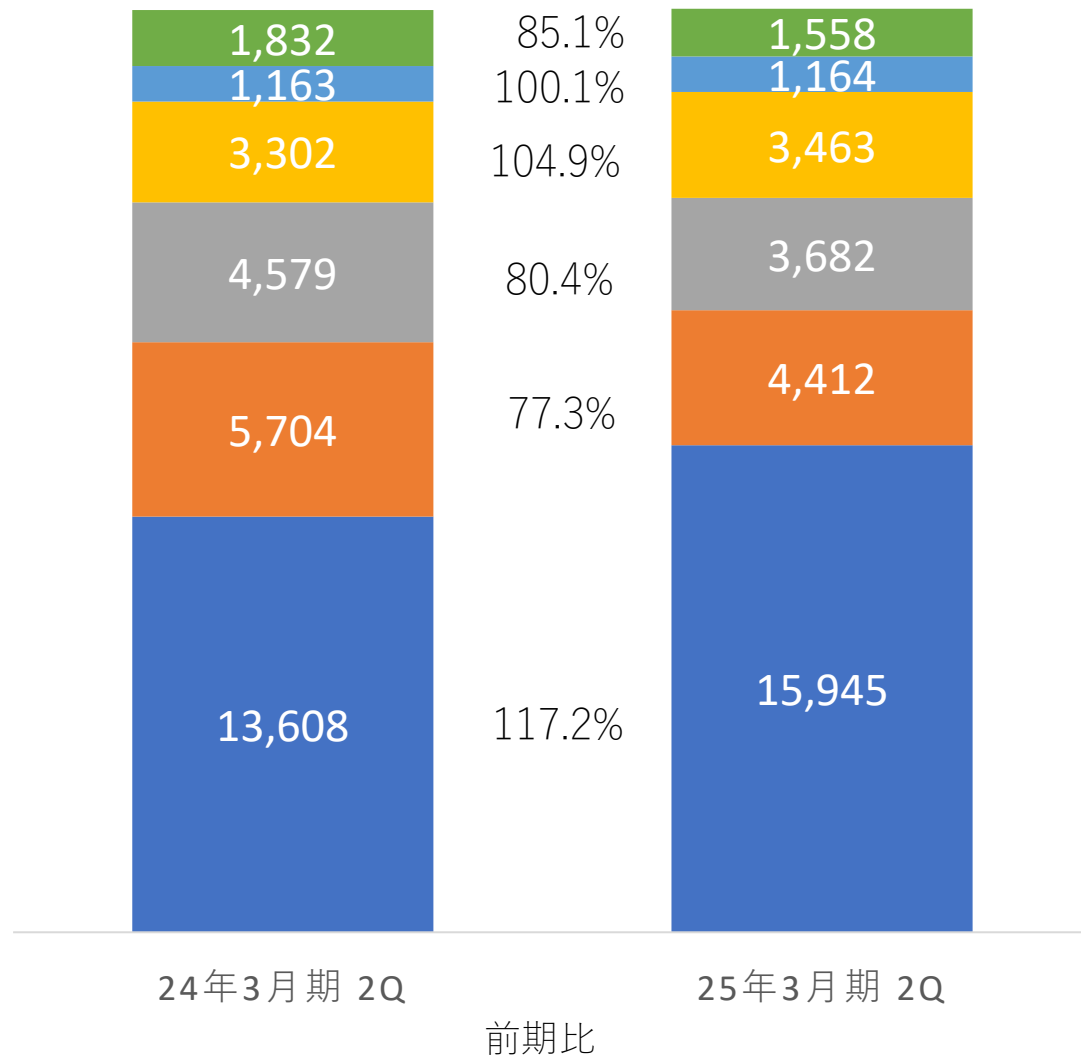
(百万円)

売上高	日本	北米	その他	合計
'24/03 2Q	28,743	3,055	2,170	33,969
'25/03 2Q	28,962	3,392	1,818	34,173



業種別売上実績・シェア（単体）

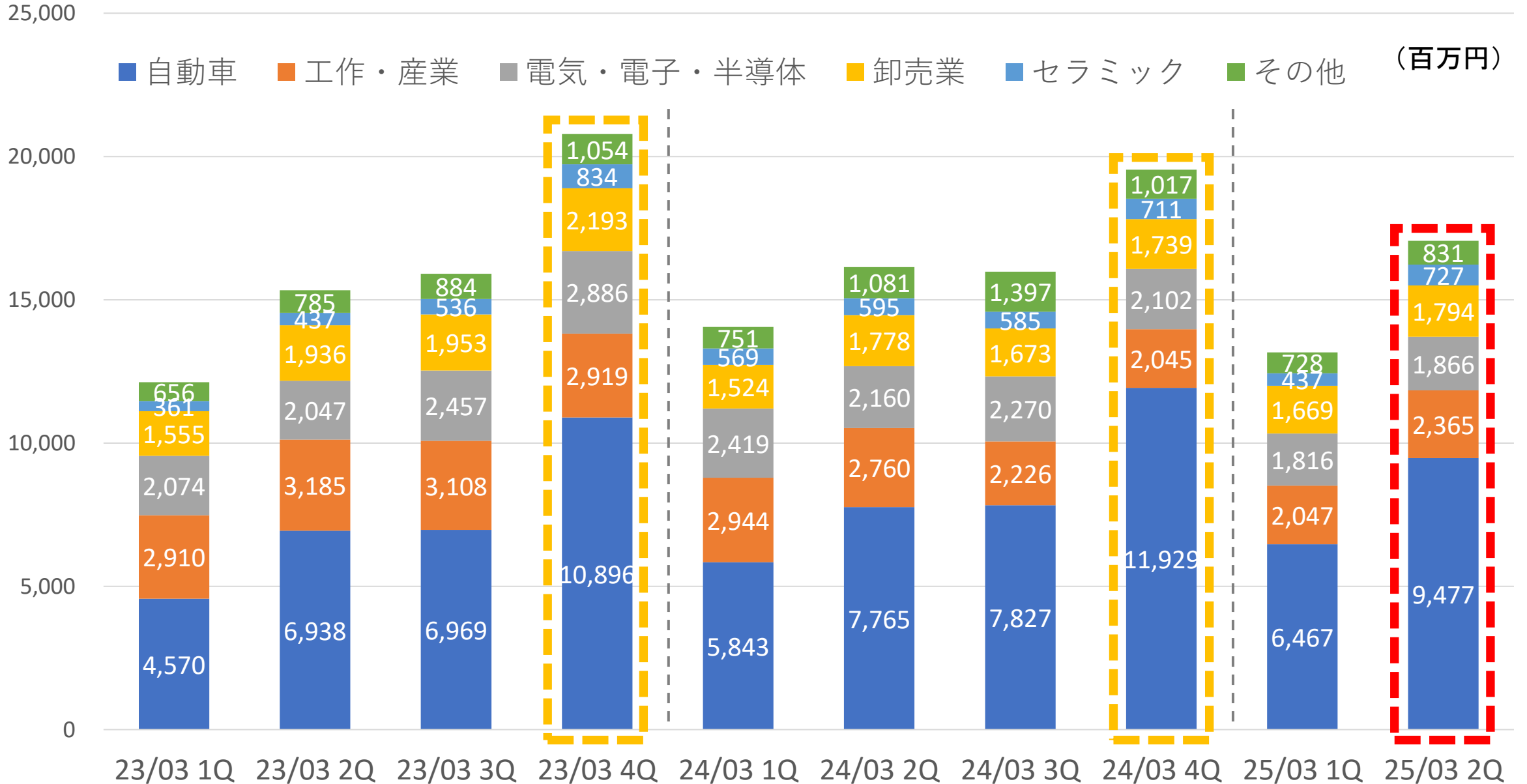
- 自動車関連
- 工作・産業機械
- 電気・電子半導体
- 卸売
- セラミック
- その他（単位百万円）



主要顧客

- | | |
|------------|-----------|
| トヨタグループ各社 | 芝浦メカトロニクス |
| デンソーグループ各社 | フジキカイ |
| アイシングループ各社 | 三菱電機 |
| 日本特殊陶業 | 日産自動車 |
| 日本ガイシ | 三菱重工 |
| イビデン | セントラル硝子 |
| CKD | 他 |

業種別売上実績（単体・四半期推移）



品目別売上実績

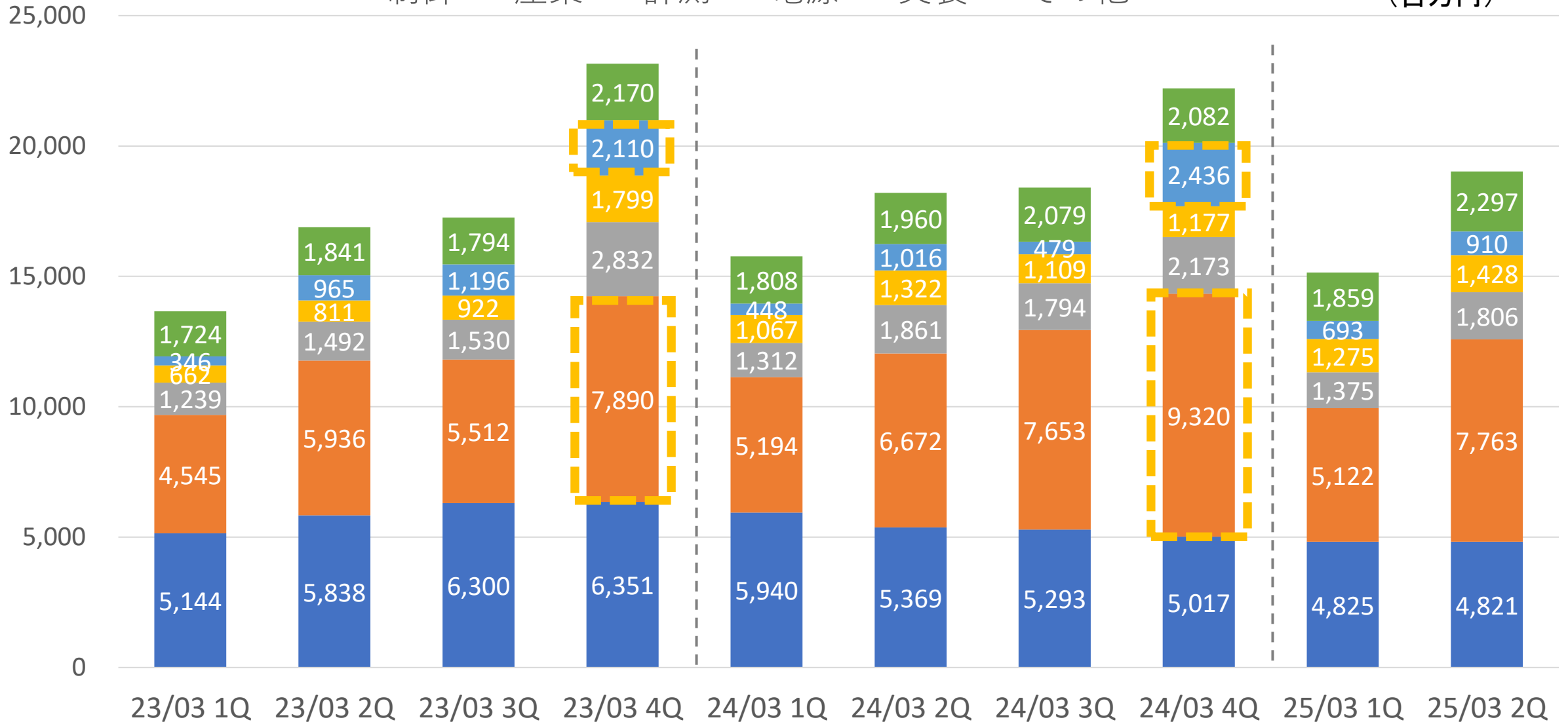


		2024年3月期2Q		2025年3月期2Q		前年同期比	
		実績 (百万円)	シェア/利益 率	実績 (百万円)	シェア/利益 率	増減 (百万円)	増減率
売上高	制御機器	11,309	33.3%	9,646	28.2%	▲1,662	▲14.7%
	産業機器	11,865	34.9%	12,884	37.7%	+1,018	+8.6%
	計測機器	3,172	9.4%	3,180	9.3%	+8	+0.3%
	電源機器	2,389	7.0%	2,702	7.9%	+313	+13.1%
	実装機器	1,464	4.3%	1,602	4.7%	+138	+9.4%
	その他	3,767	11.1%	4,155	12.2%	+388	+10.3%
	計	33,969		34,173		+204	+0.6%

品目別売上実績（連結・四半期推移）

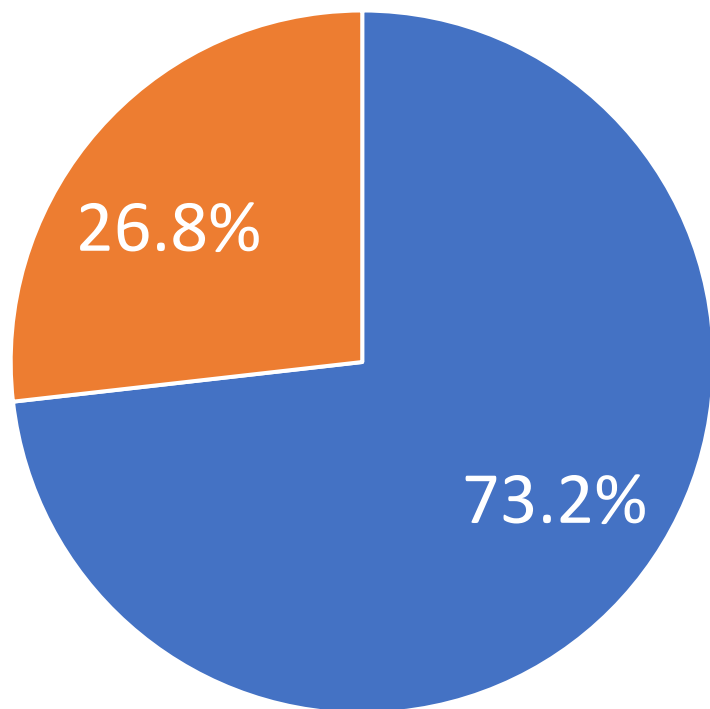
■ 制御 ■ 産業 ■ 計測 ■ 電源 ■ 実装 ■ その他

(百万円)



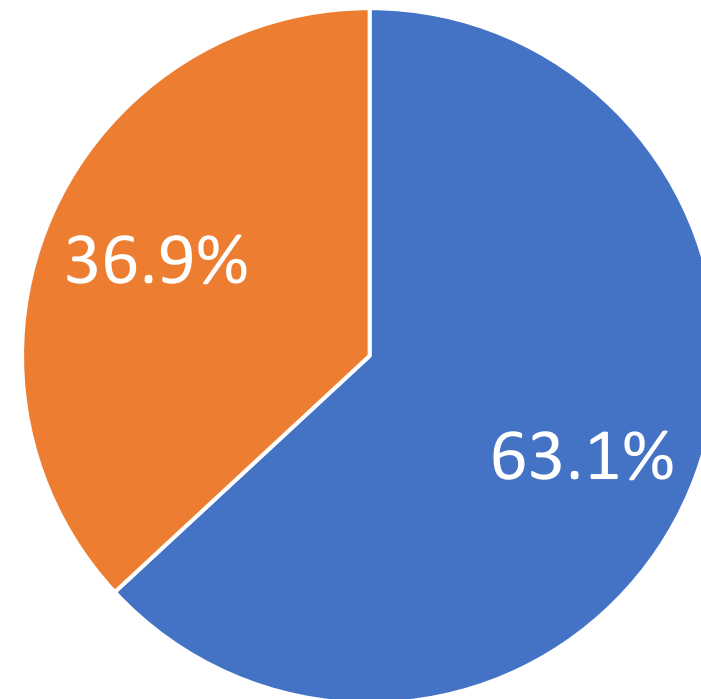
事業別売上構成比（単体）

24年3月期2Q



■ 商社事業 ■ エンジニアリング事業

25年3月期2Q



■ 商社事業 ■ エンジニアリング事業

通期業績予想（修正）



※前期比増収
及び営業利益
ベースでの
増益を目指す

	2024年3月期 実績 (百万円)	2025年3月期						
		通期 前回予想 (百万円)	通期 修正予想 (百万円)	増減 (百万円)	前回予想 比増減 (%)	前期比 (%)	下期 前回予想 (百万円)	下期 修正予想 (百万円)
売上高	74,580	78,500	77,500	▲1,000	▲1.3	+3.9	41,100	43,400
営業利益	2,914	3,250	3,010	▲240	▲7.4	+3.3	1,850	2,190
経常利益	3,332	3,490	3,220	▲270	▲7.7	▲3.4	1,960	2,300
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,426	2,510	2,240	▲270	▲10.8	▲7.7	1,370	1,610

中間配当および期末配当予想

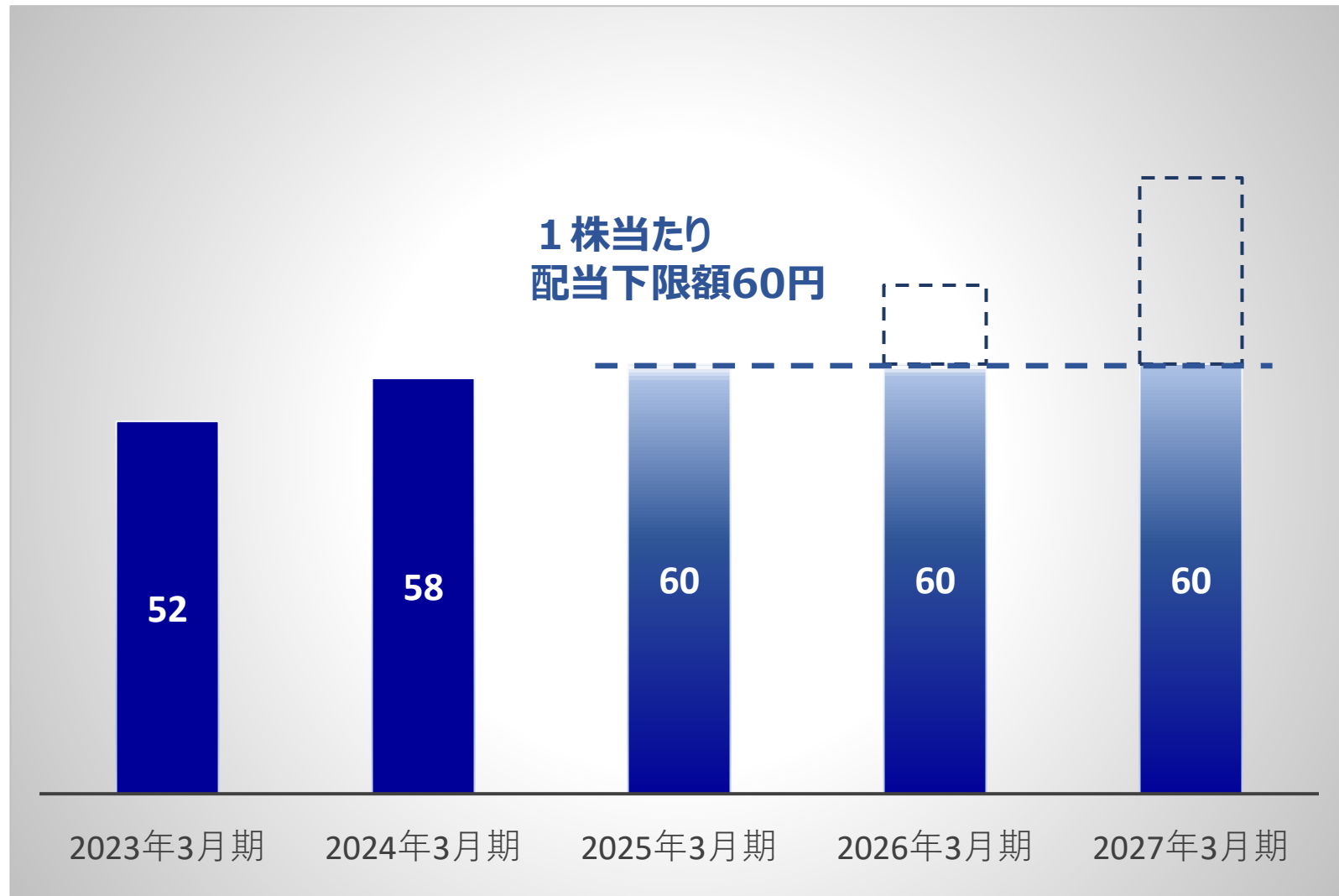


※配当予想は 修正なし	2024年3月期		2025年3月期		前期比増減
	実績	前回予想	決定額及び予想	増減	
中間配当金	20円	30円	30円	0円	+10円
期末配当金	38円	30円	30円	0円	▲8円
年間配当金	58円	60円	60円	0円	+2円
配当性向	30.3%	30.3%	34.1%	+3.8%	+3.8%

株主還元

◆ 株主価値の最大化と企業価値の持続的向上のため、1株当たり年間配当金の下限値を60円に設定※

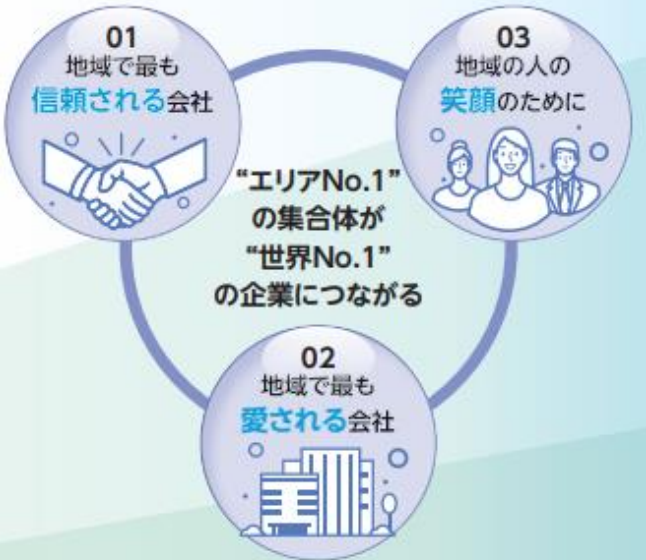
※期間は第11次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）とする



エリアNo.1の 存在価値のあるパートナーになる

基本方針

- 1 事業品質向上
- 2 成長投資と収益力強化
- 3 サステナビリティ推進
- 4 資本コスト経営



事業品質向上

各地域における事業品質(安全、品質)の向上

全社横断で安全と
品質の向上を推進する

=

エリア No.1の
安全・品質の実現

(エンジニアリングビジネス、
部材ビジネスの安全、品質向上)



成長投資と収益力強化

成長領域への人的投資

エリア毎にポテンシャル及び収益性の高いビジネス領域へリソースを投入。

生産性向上

付加価値労働生産性向上に向けた社内DXの推進。

コアビジネスの強化と全エリアへの展開

高い安全、品質によるエンジニアリングビジネス、部材ビジネスの推進と全社展開による収益力の向上。

専門性の高いスキルによるエリア No.1の提案力と訴求力の向上。

海外ビジネスの拡大

グローバル化するものづくりのサポートのための組織力強化。



サステナビリティ推進

事業を通じた社会課題への貢献

労働力人口減少に向けたさらなる自動化、省人化提案の強化。
脱炭素ビジネスの推進(ものづくりにおける環境負荷低減支援)及び
自社カーボンニュートラルの推進。

サステナビリティ経営推進

人的資本強化に向けた人事制度改定、教育プログラムの見直し。
サステナビリティ推進体制の整備。

2027年3月期 数値目標

売上高

90,000百万円

営業利益

4,860百万円

経常利益

5,070百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

3,630百万円

営業利益率

5.4%

ROE

10.0%

資本コスト経営

(資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応)

収益力強化

ROE10%以上、営業利益率5%以上を目標とした第11次中期経営計画の推進。

株主還元の充実

株主価値の最大化と企業価値の持続的向上のため下限配当を設定。
(第11次中期経営計画期間(2025年3月期～2027年3月期)においては、
1株当たり年間配当金の下限値を60円とする)

IR活動の充実

投資家との対話、英文開示及び非財務情報の開示強化。

人と車のテクノロジー展に出展



人とくるまのテクノロジー展 Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA



「JSAE 名古屋ベスト 30」結果発表

来場者の皆さまに最も印象に残った出展企業をお選びいただきました。

総投票数 **3,177**票 (2023年度 2,942票)

1位	トヨタ自動車株式会社	16位	三菱ケミカル株式会社
2位	本田技研工業株式会社	17位	アイカ工業株式会社
3位	株式会社デンソー	18位	三井化学株式会社
4位	株式会社アイシン	19位	AGC株式会社
5位	トヨタ車体株式会社	20位	Tebiki株式会社
6位	TOPPAN株式会社	21位	住友電気工業株式会社
7位	日産自動車株式会社	22位	SOLIZE株式会社
8位	積水化学工業株式会社	23位	明治電機工業株式会社
9位	三菱自動車工業株式会社	24位	KOBELCOグループ (神戸製鋼所)
10位	東レ株式会社	25位	株式会社ダッド
11位	スズキ株式会社	26位	古河電気工業株式会社
12位	マツダ株式会社	27位	株式会社村田製作所
13位	日野自動車株式会社	28位	アナログ・デバイス株式会社
14位	いすゞ自動車株式会社	29位	株式会社SUBARU
15位	住友化学株式会社	30位	ヤマハ発動機株式会社

再生可能エネルギー由来水素利活用設備



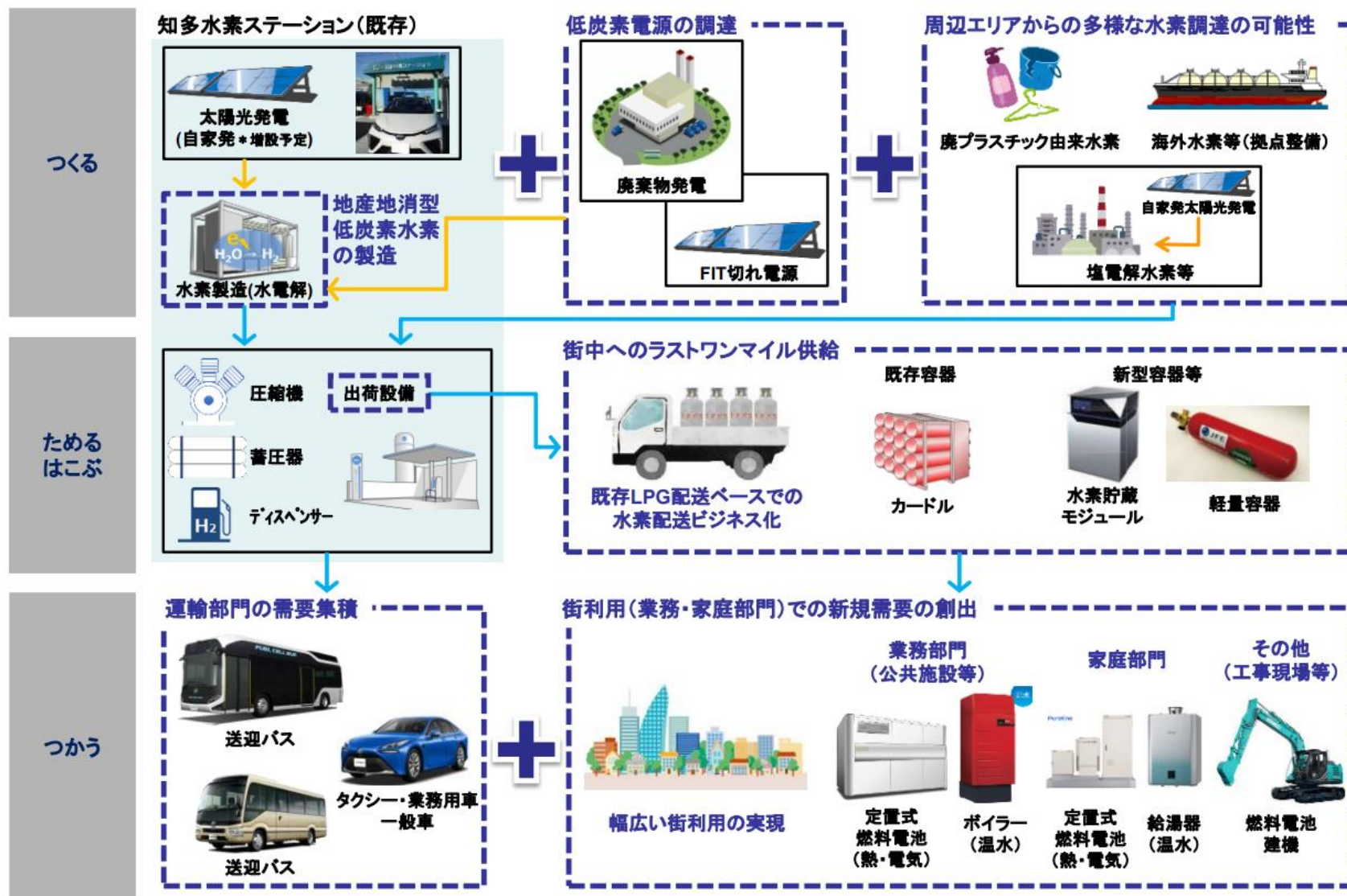
 **BLUE
CLOVER**

水素で動くクリーンな発電システム

[50kWタイプ]

純水素型定置式燃料電池発電機

愛知県知多市における低炭素水素モデルタウン事業の事業化可能性調査に参画



日本最大級のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」へ入居

2024年10月 日本最大のスタートアップ支援拠点開業

Autonomousビルとして
最先端テクノロジーの実証実験場



企業×スタートアップの
事業化マッチング



ご視聴ありがとうございました